

2021/3/23-3

(うと Q 世話し ため息)

「正しいものには矛盾がない。だから統一しなさい。出来ないものは排斥しなさい」

という考え方もあれば

「そもそもが、矛盾だらけなのだ。矛盾したものが平気で併存することはよくある事だ。いちいち目鯨を立てていたら切りがない。何が正しいか?よりも、何が実態、事実か?を捉えた方が、話が早い」

という意見もあります。

この一つだけをとっても、その後の生き方が全然違ってきます。

こういった場合以下の言葉は余り使われませんが、これも

「ものは考え様」

の、紛うことなき一例でしょう。

そして、この「考え様」によって、同じ世界が全く違って見えてくるのですから、結構怖いものがあります。

そういえば以前、息子から聞いた話で「牛さんと虎さん」の話を思い出しました。

「お互いに相手に感謝を込めて、自分の最良の物をプレゼントしようと、牛さんは虎さんに草を、虎さんは牛さんに肉をプレゼントしたのですが、貰った方はお互いに大迷惑だった」というお話。

要するに「相手の取り様」

世の中っていつもこんな感じでしょうか、ね。

結構疲れます。

二つ考えただけでこれほど怖かったり疲れたりするのに、これ以上考えると、もっと訳が分からなくなりそうなので、今日はこの辺で止めておきます。

ため息。